

## 平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書)

### (平成26年度計画書)

(事業計画書作成担当者)

都道府県等の名称	三重県		
所在地	〒514-8570 三重県津市広明町13番地		
事業計画作成担当者	氏名	所属部局・役職名等	
		雇用経済部 エネルギー政策課	
	TEL	FAX	メールアドレス
	059-224-2316	059-224-3024	

(基金事業の執行計画)

(単位:千円)

再生可能エネルギー等導入推進事業	平成26年度	平成27年度	平成28年度	合計
地域資源活用詳細調査事業	127			
公共施設再生可能エネルギー等導入事業	20,528			
民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業	0			
風力・地熱発電事業等導入支援事業	0			
合計	20,655			
運用益使用額(内数)				

計画書を提出する年度の執行額は、執行予定額(運用益収入を含む)を記載する。

計画書を提出する年度以前の年度の執行額は、執行済額(運用益収入を含む)又は執行予定額(運用益収入を含む)を記載する。

計画書を提出する年度以後の年度の執行額は、執行見込額(運用益収入を含めない)を記載する。

「運用益使用額(内数)」は、合計額に運用益収入額が含まれる場合に、その額を記載する。。

## 平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書)

(平成26年度計画書)

(事業計画の概要)

平成26年度計画概要																																																																					
<p><b>【事業の目的】</b> 三重県では、複数の震源域が同時に動く『南海トラフを震源域とする巨大地震』の発生が危惧されており、また、平成23年の台風12号による紀伊半島大水害により、災害対策本部施設が使用不能となったことの影響を生かす災害対策本部の機能強化など防災・減災対策が急務となっています。 このような状況のなか、地域防災力を早急に強化する必要があるため、災害時において災害応急対策の拠点として機能する災害対策本部や避難所の施設等に、太陽光などの再生可能エネルギー等を導入し、災害に強く、環境への負荷の少ない地域づくりの実現を目指していきます。</p> <p><b>【事業の執行方針】</b> 本基金事業の目的が、災害対策であるため、可能な限り早期の事業執行を図っていくことが必要です。本基金事業は、平成26年度から3ヶ年の事業であることから、全体計画等の策定など外部評価委員会の開催とともに、事業期間が短いことから市町の意向を踏まえ、初年度から実施可能な施設について優先的に整備を進めていきます。</p> <p><b>【事業の選定方法、監理体制】</b> 本基金事業では、事業計画の立案段階から実施後の評価までの一連の事業プロセスにおいて効率性や透明性などを検証できる仕組みを構築するため、「三重県再生可能エネルギー等導入推進基金事業 外部評価委員会」を設置・開催し、実施事業の審査、評価、助言等を受けることとしています。</p> <p><b>【三重県再生可能エネルギー等導入推進基金事業 外部評価委員会の構成】</b> 本基金事業では、事業計画の立案段階から実施後の評価までの一連の事業プロセスにおいて効率性や透明性などを検証できる仕組みを構築するため、「三重県再生可能エネルギー等導入推進基金事業 外部評価委員会」を開催し、実施事業の審査、評価、助言等を受けることとしています。今年度は、今年度は、選定方針及び実施計画書の評価、全体計画書、平成26年度計画書の評価・確認などを行う予定です。</p> <table border="1" data-bbox="118 961 1700 1073"> <tr> <td>立花 義裕</td> <td>三重大学 大学院 生物資源学研究所 教授(地球温暖化対策)</td> </tr> <tr> <td>浅野 聡</td> <td>三重大学 大学院 工学研究科建築学専攻 准教授(防災)</td> </tr> <tr> <td>坂内 正明</td> <td>三重大学 スマートキャンパス部門 部門長 大学院 地域イノベーション学研究所 教授(再生可能エネルギー)</td> </tr> </table> <p><b>【外部評価委員会の開催実績・予定】</b>                      ・平成26年7月29日 第1回 選定方針の評価、実施計画書の評価                      ・平成26年10月7日 第2回 全体計画書の評価、平成26年度計画書の評価                      ・年度末 第3回 平成26年度の進捗の報告と評価                      ・年度末 第4回 評価を踏まえ、平成27年度計画の選定</p> <p><b>【実施事業の概要】</b>                      地域資源活用詳細調査事業                      外部評価委員会の開催、事業の適正かつ効果的な実施のための市町、民間企業との連絡調整、協議、現地調査等の本基金事業の執行にあたって必要な旅費等の執行を行います。                      公共施設再生可能エネルギー等導入事業                      (ア) 災害対策本部機能を担う施設                      災害対策本部等においては、災害応急対策活動等を行うために最低限必要とする執務室の照明や通信機器の電源を確保する必要があります。                      電源の確保にあたっては、化石燃料に頼らない太陽光発電と蓄電システムを導入することにより、電源の多重化を図ります。                      (イ) 孤立地域の避難所となる施設等                      停電が長期化し、かつ燃料調達が不能となる場合に備え、太陽光発電と蓄電システムを導入することで、通信機器や非常灯・LED照明等の電源を確保します。                      なお、本事業メニューでは、新規採択事業として名張市など6市町、11事業を実施しますが、いずれも実施設計の委託事業のみとなり、設備の導入については、平成27年度の実施となります。</p> <table border="1" data-bbox="118 1539 2763 1963"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施主体</th> <th>エネルギー種別</th> <th>事業期間</th> <th>事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>名張市</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>市の災害対策本部である市役所に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>名張市</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>市の災害対策本部である市消防庁舎に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>熊野市</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>市の災害対策本部である市役所に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>いなべ市</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池 + 屋内高所照明</td> <td>26～27</td> <td>市の指定避難所である小学校に、太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>菟野町</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>町の災害対策本部である町役場に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>菟野町</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池 + 屋内高所照明</td> <td>26～27</td> <td>町の指定避難所である施設に、太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>菟野町</td> <td>蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>町の指定避難所である小学校に、蓄電池を設置することで、既設の太陽光発電に連携させ、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>菟野町</td> <td>蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>町の指定避難所である小学校に、蓄電池を設置することで、既設の太陽光発電に連携させ、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>玉城町</td> <td>蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>町の災害対策本部である町役場に、蓄電池を設置することで、別事業で設置する太陽光発電に連携させ、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>南伊勢町</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>町の指定避難所である中学校に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>南伊勢町</td> <td>太陽光発電 + 蓄電池</td> <td>26～27</td> <td>町の指定避難所である中学校に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。</td> </tr> </tbody> </table>				立花 義裕	三重大学 大学院 生物資源学研究所 教授(地球温暖化対策)	浅野 聡	三重大学 大学院 工学研究科建築学専攻 准教授(防災)	坂内 正明	三重大学 スマートキャンパス部門 部門長 大学院 地域イノベーション学研究所 教授(再生可能エネルギー)		実施主体	エネルギー種別	事業期間	事業の概要	1	名張市	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	市の災害対策本部である市役所に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	2	名張市	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	市の災害対策本部である市消防庁舎に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	3	熊野市	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	市の災害対策本部である市役所に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	4	いなべ市	太陽光発電 + 蓄電池 + 屋内高所照明	26～27	市の指定避難所である小学校に、太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	5	菟野町	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	町の災害対策本部である町役場に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	6	菟野町	太陽光発電 + 蓄電池 + 屋内高所照明	26～27	町の指定避難所である施設に、太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	7	菟野町	蓄電池	26～27	町の指定避難所である小学校に、蓄電池を設置することで、既設の太陽光発電に連携させ、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	8	菟野町	蓄電池	26～27	町の指定避難所である小学校に、蓄電池を設置することで、既設の太陽光発電に連携させ、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	9	玉城町	蓄電池	26～27	町の災害対策本部である町役場に、蓄電池を設置することで、別事業で設置する太陽光発電に連携させ、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	10	南伊勢町	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	町の指定避難所である中学校に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。	11	南伊勢町	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	町の指定避難所である中学校に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。
立花 義裕	三重大学 大学院 生物資源学研究所 教授(地球温暖化対策)																																																																				
浅野 聡	三重大学 大学院 工学研究科建築学専攻 准教授(防災)																																																																				
坂内 正明	三重大学 スマートキャンパス部門 部門長 大学院 地域イノベーション学研究所 教授(再生可能エネルギー)																																																																				
	実施主体	エネルギー種別	事業期間	事業の概要																																																																	
1	名張市	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	市の災害対策本部である市役所に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
2	名張市	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	市の災害対策本部である市消防庁舎に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
3	熊野市	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	市の災害対策本部である市役所に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
4	いなべ市	太陽光発電 + 蓄電池 + 屋内高所照明	26～27	市の指定避難所である小学校に、太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
5	菟野町	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	町の災害対策本部である町役場に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
6	菟野町	太陽光発電 + 蓄電池 + 屋内高所照明	26～27	町の指定避難所である施設に、太陽光発電、蓄電池、屋内高所照明を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
7	菟野町	蓄電池	26～27	町の指定避難所である小学校に、蓄電池を設置することで、既設の太陽光発電に連携させ、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
8	菟野町	蓄電池	26～27	町の指定避難所である小学校に、蓄電池を設置することで、既設の太陽光発電に連携させ、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
9	玉城町	蓄電池	26～27	町の災害対策本部である町役場に、蓄電池を設置することで、別事業で設置する太陽光発電に連携させ、防災拠点の機能維持を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
10	南伊勢町	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	町の指定避難所である中学校に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	
11	南伊勢町	太陽光発電 + 蓄電池	26～27	町の指定避難所である中学校に、太陽光発電と蓄電池を設置することで、最低限必要な電力確保の整備を行う。平成26年度は実施設計を行い、平成27年度に施工する。																																																																	



**平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書)**  
(平成26年度計画書)

(基金事業の内容)

(単位:千円)

(1)地域資源活用詳細調査事業								
事業番号	事業年度	事業内容	事業実施時期	事業費の算出根拠	事業費の算出根拠		事業費合計	備考
					(基金充当額)	(単独費支出額)		
24000-26-1-001	平成26年度	外部評価委員会の開催	7月、10月、2月、3月				0	
	平成27年度						0	
	平成28年度						0	
24000-26-1-002	平成26年度	事業実施に係る旅費	通年(10月～3月)				0	
	平成27年度						0	
	平成28年度						0	
	平成26年度						0	
	平成27年度						0	
	平成28年度						0	
合計	平成26年度				(0)	(0)	(0)	
	平成27年度				(0)	(0)	(0)	
	平成28年度				(0)	(0)	(0)	
					(0)	(0)	0	

適宜、行を追加する。

「事業費の算出根拠」については、事業実施に係る詳細な費目及び経費を記載する。

「事業費合計」については、「事業費の算出根拠」に記載した経費の合計を記載する。

平成27年及び平成28年度の計画は、前年度までの事業分を記載した上で、当該年度の事業を記載する。

複数年度にわたる事業については、前年度までの実績及び当該年度以降の見込みを記載する。

平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書)

(平成26年度計画書)

(基金事業の内容)

(2) 公共施設再生可能エネルギー等導入事業																												
事業NO	事業名	実施主体	実施方法	施設区分	事業内容 (再生可能エネルギー)				事業内容 (蓄電池)				事業内容 (未利用エネルギー)				事業内容 (その他)				稼働年月	事業年度	事業効果		事業費			備考
					種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数			発電量 (kWh)	二酸化炭素 削減量 (t-CO2)	(基金充当額) (単位:千円)	(単独費支出額) (単位:千円)	合計 (単位:千円)	
24208-26-2-001	名張市庁舎再生可能エネルギー等導入事業	名張市	補助	庁舎	太陽光	20kW		1	リチウム蓄電池	20kWh		1							H27.12	平成26年度						設計		
																				平成27年度	7,592	4.17				施工		
																				平成28年度	22,776	12.52						
24208-26-2-002	名張市消防庁舎再生可能エネルギー等導入事業	名張市	補助	消防	太陽光	20kW		1	リチウム蓄電池	20kWh		1							H27.12	平成26年度						設計		
																				平成27年度	7,592	4.17				施工		
																				平成28年度	22,776	12.52						
24212-26-2-001	熊野市災害対策本部再生可能エネルギー等導入事業	熊野市	補助	庁舎	太陽光	10kW		1	リチウム蓄電池	10kWh		1							H28.03	平成26年度						設計		
																				平成27年度	949	0.52				施工		
																				平成28年度	11,388	6.26						
24214-26-2-001	三里小学校屋内運動場避難施設再生可能エネルギー等導入事業	いなべ市	補助	学校	太陽光	10kW		1	リチウム蓄電池	15kWh		1	屋内高所照明				18	H27.12	平成26年度						設計			
																			平成27年度	3,796	3.07				施工			
																			平成28年度	11,388	9.25							
24341-26-2-001	菟野町庁舎再生可能エネルギー等導入事業	菟野町	補助	庁舎	太陽光	10kW		1	リチウム蓄電池	15kWh		1							H28.03	平成26年度						設計		
																				平成27年度	949	0.52				施工		
																				平成28年度	11,388	6.26						
24341-26-2-002	菟野町B&G海洋センター再生可能エネルギー等導入事業	菟野町	補助	その他	太陽光	10kW		1	リチウム蓄電池	15kWh		1	屋内高所照明				10	H28.03	平成26年度						設計			
																			平成27年度	949	0.55				施工			
																			平成28年度	11,388	6.69							
24341-26-2-003	竹永小学校再生可能エネルギー等導入事業	菟野町	補助	学校					リチウム蓄電池	15kWh		1							H28.03	平成26年度						設計		
																				平成27年度						施工		
																				平成28年度								
24341-26-2-004	千種小学校再生可能エネルギー等導入事業	菟野町	補助	学校					リチウム蓄電池	15kWh		1							H28.03	平成26年度						設計		
																				平成27年度						施工		
																				平成28年度								
24461-26-2-001	玉城町役場本庁舎再生可能エネルギー等導入事業	玉城町	補助	庁舎					リチウム蓄電池	20kWh		1							H28.02	平成26年度						設計		
																				平成27年度						施工		
																				平成28年度								
24472-26-2-001	南伊勢町南勢中学校施設再生可能エネルギー等導入事業	南伊勢町	補助	学校	太陽光	20kw		2	リチウム蓄電池	16.2kWh		3							H28.03	平成26年度						設計		
																				平成27年度	3,796	2.08				施工		
																				平成28年度	45,552	25.05						
24472-26-2-002	南伊勢町南島中学校施設再生可能エネルギー等導入事業	南伊勢町	補助	学校	太陽光	20kW		1	リチウム蓄電池	16.2kWh		2							H28.03	平成26年度						設計		
																				平成27年度	1,898	0.98				施工		
																				平成28年度	22,776	11.79						
合 計																				平成26年度	0	0	(0)	(0)	0			
合 計																				平成27年度	27,521	16.06	(0)	(0)	0			
合 計																				平成28年度	159,432	90.34	(0)	(0)	0			
合 計																				合計	186,953	106.40	(0)	(0)	0			

適宜、行を追加する。

防災拠点毎に事業を記載してください(1施設 = 1事業)

「発電量」について、発電しない再生可能エネルギー等は記入不要。

平成27年及び平成28年度の計画は、前年度までの事業分を記載した上で、当該年度の事業を記載する。

複数年度にわたる事業については、前年度までの実績及び当該年度以降の見込みを記載する。また、備考欄に各年度の事業内容を記載する。



**平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書)**  
(平成26年度計画書)

(基金事業の内容)

(3) 民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業(補助率1/3)																											
事業NO	事業名	実施主体	施設区分	事業内容 (再生可能エネルギー)				事業内容 (蓄電池)				事業内容 (未利用エネルギー)				事業内容 (その他)				稼働年月	事業年度	事業効果		事業費			備考
				種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数			発電量 (kWh)	二酸化炭素 削減量 (t-CO2)	(基金充当額) (単位:千円)	(事業者負担額) (単位:千円)	合計 (単位:千円)	
																				平成26年度					0		
																				平成27年度					0		
																				平成28年度					0		
	該当事業なし																			平成26年度					0		
																				平成27年度					0		
																				平成28年度					0		
																				平成26年度					0		
																				平成27年度					0		
																				平成28年度					0		
																				平成26年度	0	0	(0)	(0)	0		
																				平成27年度	0	0	(0)	(0)	0		
																				平成28年度	0	0	(0)	(0)	0		
																				合計	0	0	(0)	(0)	0		

(基金事業の内容)

(3) 民間施設再生可能エネルギー等導入推進事業(3%利子補給)																											
事業NO	事業名	実施主体	施設区分	事業内容 (再生可能エネルギー)				事業内容 (蓄電池)				事業内容 (未利用エネルギー)				事業内容 (その他)				稼働年月	事業年度	事業効果		金額			備考
				種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数	種別	容量	価格 (単位:千円)	個数			発電量 (kWh)	二酸化炭素 削減量 (t-CO2)	(基金充当額) (単位:千円)	(事業者負担額) (単位:千円)	合計 (単位:千円)	
																				平成26年度					0		
																				平成27年度					0		
																				平成28年度					0		
	該当事業なし																			平成26年度					0		
																				平成27年度					0		
																				平成28年度					0		
																				平成26年度					0		
																				平成27年度					0		
																				平成28年度					0		
																				平成26年度	0	0	(0)	(0)	0		
																				平成27年度	0	0	(0)	(0)	0		
																				平成28年度	0	0	(0)	(0)	0		
																				合計	0	0	(0)	(0)	0		

適宜、行を追加する。

防災拠点毎に事業を記載してください(1施設=1事業)

「発電量」について、発電しない再生可能エネルギー等は記入不要。

平成27年及び平成28年度の計画は、前年度までの事業分を記載した上で、当該年度の事業を記載する。

複数年度にわたる事業については、前年度までの実績及び当該年度以降の見込みを記載する。また、備考欄に各年度の事業内容を記載する。

平成26年度	0	0	(0)	(0)	0
平成27年度	0	0	(0)	(0)	0
平成28年度	0	0	(0)	(0)	0
総合計	0	0	(0)	(0)	0



## 平成26年度再生可能エネルギー等導入推進基金事業計画書(各年度計画書)

(平成26年度計画書)

(事業計画の概要)

導入規模(容量)及び価格根拠

### 導入機器の規模・容量の考え方

導入容量については、災害時等に電力が遮断された場合において、必要最低限の電力確保を行うことを前提とする。

県・市町からの実施計画書の提出においては、「導入設備規模チェックシート」を添付させ、昼間、夜間の消費電力を通信連絡、照明機器、情報収集などの目的別に、パソコン、携帯電話、照明などの使用機器名と使用数を積み上げ、必要最低限となる電力量を算出

で算出した必要電力量により、導入する太陽光発電及び蓄電池の容量を、施設管理者が決定する。

### 価格根拠

#### 公共施設再生可能エネルギー等導入事業

市町の実施設計業務に係る費用は、算出方法等(積算、実績、率計算等)を確認し、当該費用が過大経費でないか等のチェックを行っている。